



## 平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月8日

上場取引所 東

上場会社名 ワタミ株式会社

コード番号 7522 URL <http://www.watami.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 桑原 豊

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画グループ長

(氏名) 小田 剛志

TEL 03-5737-2703

四半期報告書提出予定日 平成26年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	39,456	△2.6	△115	—	△435	—	△992	—
26年3月期第1四半期	40,524	8.7	1,617	△20.9	1,336	△22.8	617	△4.0

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 △1,005百万円 (—%) 26年3月期第1四半期 767百万円 (13.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	△26.58	—
26年3月期第1四半期	15.41	15.39

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第1四半期	126,097	21,432	16.6	563.09
26年3月期	127,910	22,768	17.5	600.10

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 21,029百万円 26年3月期 22,390百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	5.00	—	10.00	15.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	5.00	—	10.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	81,000	0.3	1,000	△59.6	500	△73.4	△200	—	△5.04
通期	170,000	4.2	5,000	69.7	4,000	87.4	2,000	—	50.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期1Q	41,686,780 株	26年3月期	41,686,780 株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	4,340,705 株	26年3月期	4,376,598 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期1Q	37,329,383 株	26年3月期1Q	40,065,644 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当第1四半期連結会計期間の末日現在において、当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

当四半期連結会計期間におけるわが国経済は、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動がみられましたが、景気は緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、当社グループを取り巻く環境は依然として厳しい状態が続いております。

このような環境下、「地球上で一番たくさんのお客さまを集めるグループになろう」というグループスローガンのもと、各事業分野においてお客さまのお集まりの活動を積極的に展開してまいりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

#### ①国内外食事業

国内外食事業におきましては4店舗を新規出店いたしました。一方では29店舗の撤退を行い、当四半期連結会計期間における店舗数は621店舗となりました。しかしながら厳しい事業環境が続き、既存店売上高前年比は93.3%、既存店客数前年比は95.4%となっております。その結果、国内外食事業における売上高は16,406百万円（前年同期比92.6%）、セグメント損失は915百万円（前年同期は241百万円の利益）となりました。

#### ②介護事業

介護事業におきましては、2棟の新規施設を開設し、6,200名を超えるお客さまにご入居いただいております。当第1四半期連結会計期間末における施設数は104棟となっております。しかしながら、新規入居者様数が想定を下回って推移していること等により、既存施設の入居率は、当第1四半期連結会計期間末で84.1%となっております。介護事業における売上高は8,815百万円（前年同期比99.6%）、セグメント利益は721百万円（前年同期比66.3%）となりました。

#### ③宅食事業

宅食事業におきましては、7ヶ所の新規営業拠点を開設し、当第1四半期連結会計期間末の営業拠点数は537ヶ所となっております。しかしながら、新規のお客さま獲得が伸び悩み、6月の最終週における調理済み商品の平日1日あたりお届け数は265千食（前年同月最終週は284千食）となっております。宅食事業における売上高は10,166百万円（前年同期比94.7%）、セグメント利益は696百万円（前年同期比65.5%）となりました。

#### ④海外外食事業

海外外食事業におきましては、4店舗の新規出店を実施し、一方では2店舗の撤退を行い、当第1四半期連結会計期間末の店舗数99店舗となっております。海外外食事業における売上高は3,552百万円（前年同期比120.4%）、セグメント利益は3百万円（前年同期比46.5%）となりました。

#### ⑤その他事業（農業、環境事業等）

その他事業におきましては、農業の外部販売の拡大、環境事業の再生エネルギー部門の拡大により、売上高は516百万円（前年同期比177.6%）、セグメント損失は35百万円（前年同期は22百万円の損失）となっております。

当第1四半期連結累計期間における企業集団の成果は、上記のように厳しい収益環境が続き、売上高39,456百万円（前年同期比97.3%）となり、営業損失は115百万円（前年同期は1,617百万円の利益）、経常損失は435百万円（前年同期は1,336百万円の利益）、四半期純損失は992百万円（前年同期は617百万円の利益）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末（以下「前期末」という。）比1,812百万円減少して126,097百万円となりました。流動資産は同3,137百万円減少の16,558百万円、固定資産は同1,325百万円増加の109,539百万円となりました。固定資産のうち有形固定資産は介護施設の新設・外食店舗設備の購入に伴うリース資産の計上等により前期末比908百万円増加の73,335百万円となりました。無形固定資産は、のれんの償却やソフトウェアの計上等により前期末比318百万円増加の8,193百万円となりました。投資その他の資産は、介護施設の新規開設に伴う差入保証金の増加等により前期末比98百万円増加の28,010百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の負債の合計は、前期末比476百万円減少の104,665百万円となりました。流動負債は短期借入金の増加や営業債務の減少等により同285百万円減少の31,192百万円、固定負債は長期借入金の返済やリース債務の増加等により同191百万円減少の73,472百万円となっています。このうち有利子負債（短期借入金、長期借入金及びリース債務の合計額）は、前期末比2,439百万円増加の73,381百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の純資産の部は、利益剰余金の減少等により前期末比1,335百万円減少して、21,432百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月8日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,395	6,383
売掛金	4,237	4,396
商品及び製品	430	391
仕掛品	267	285
原材料及び貯蔵品	539	485
その他	4,836	4,628
貸倒引当金	△10	△11
流動資産合計	19,696	16,558
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	19,441	19,386
リース資産	48,939	49,746
その他	4,046	4,203
有形固定資産合計	72,427	73,335
無形固定資産		
のれん	6,546	6,389
その他	1,329	1,803
無形固定資産合計	7,875	8,193
投資その他の資産		
差入保証金	23,346	22,924
その他	4,768	5,288
貸倒引当金	△203	△203
投資その他の資産合計	27,911	28,010
固定資産合計	108,214	109,539
資産合計	127,910	126,097

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,100	3,730
短期借入金	6,143	8,403
リース債務	3,972	4,060
未払法人税等	912	57
賞与引当金	1,143	522
販売促進引当金	124	202
短期契約解除引当金	29	27
その他	15,051	14,187
流動負債合計	31,477	31,192
固定負債		
長期借入金	13,261	12,487
リース債務	47,563	48,429
長期預り入居金	8,177	7,874
資産除去債務	2,485	2,406
その他	2,176	2,274
固定負債合計	73,664	73,472
負債合計	105,141	104,665
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,410	4,410
資本剰余金	5,002	5,002
利益剰余金	19,629	18,237
自己株式	△6,972	△6,910
株主資本合計	22,069	20,740
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5	7
為替換算調整勘定	314	281
その他の包括利益累計額合計	320	289
新株予約権	378	385
少数株主持分	0	18
純資産合計	22,768	21,432
負債純資産合計	127,910	126,097

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	40,524	39,456
売上原価	18,724	19,379
売上総利益	21,800	20,076
販売費及び一般管理費	20,182	20,192
営業利益又は営業損失(△)	1,617	△115
営業外収益		
受取利息	33	40
設備賃貸収入	125	116
助成金収入	19	9
雑収入	216	236
営業外収益合計	394	402
営業外費用		
支払利息	507	562
設備賃貸費用	123	109
持分法による投資損失	13	9
雑損失	31	40
営業外費用合計	676	722
経常利益又は経常損失(△)	1,336	△435
特別損失		
固定資産除却損	100	70
リース契約解約損	3	2
賃貸借契約解約損	—	10
減損損失	90	7
特別損失合計	194	90
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,142	△525
法人税、住民税及び事業税	450	91
法人税等調整額	74	357
法人税等合計	524	448
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	617	△974
少数株主利益	—	18
四半期純利益又は四半期純損失(△)	617	△992



(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	617	△974
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	1
為替換算調整勘定	149	△27
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△5
その他の包括利益合計	149	△31
四半期包括利益	767	△1,005
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	767	△1,023
少数株主に係る四半期包括利益	—	18

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,142	△525
減価償却費	2,138	2,230
減損損失	90	7
のれん償却額	158	156
賞与引当金の増減額(△は減少)	△424	△620
販売促進引当金の増減額(△は減少)	93	77
受取利息及び受取配当金	△33	△40
支払利息	507	562
固定資産除却損	100	70
リース契約解約損	3	2
賃貸借契約解約損	—	10
差入保証金償却額	124	133
預り金の増減額(△は減少)	182	△553
売上債権の増減額(△は増加)	△53	△162
たな卸資産の増減額(△は増加)	△53	81
未収入金の増減額(△は増加)	52	△26
仕入債務の増減額(△は減少)	△983	△363
未払金の増減額(△は減少)	△232	△453
未払費用の増減額(△は減少)	△288	△129
未払消費税の増減額(△は減少)	273	383
入居保証金の増減額(△は減少)	△78	△356
その他	210	△333
小計	2,928	150
利息及び配当金の受取額	3	5
利息の支払額	△505	△561
法人税等の支払額	△1,561	△941
法人税等の還付額	57	150
営業活動によるキャッシュ・フロー	921	△1,196
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△2,285	△1,015
投資有価証券の取得による支出	—	△13
差入保証金の差入による支出	△381	△299
差入保証金の回収による収入	70	148
貸付けによる支出	△3	△13
貸付金の回収による収入	2	1
預託金の差入による支出	△197	△514
その他	△182	△250
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,977	△1,956

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	4,043	2,717
長期借入れによる収入	—	119
長期借入金の返済による支出	△1,027	△1,323
社債の償還による支出	△200	—
自己株式の処分による収入	31	36
自己株式の取得による支出	△0	—
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△981	△1,056
配当金の支払額	△564	△330
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,301	162
現金及び現金同等物に係る換算差額	84	△21
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△669	△3,012
現金及び現金同等物の期首残高	9,004	9,395
連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△906	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,428	6,383

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	国内 外食	介護	宅食	海外外食	計				
売上高									
外部顧客への売上高	17,704	8,847	10,733	2,948	40,234	290	40,524	—	40,524
セグメント間の内部 売上高又は振替高	566	—	—	—	566	496	1,062	△1,062	—
計	18,271	8,847	10,733	2,948	40,800	786	41,587	△1,062	40,524
セグメント利益又は 損失(△)	241	1,087	1,061	7	2,398	△22	2,375	△757	1,617

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、農業、環境事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,398
「その他」の区分の利益	△22
のれんの償却額	△158
全社費用(注)	△556
その他の調整額	△45
四半期連結財務諸表の営業利益	1,617

(注) 全社費用は、主にグループ全体の管理業務に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「国内外食事業」セグメントにおいて、撤退予定等の店舗資産に係る減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては90百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

記載すべき事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

記載すべき事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	国内 外食	介護	宅食	海外外食	計				
売上高									
外部顧客への売上高	16,406	8,815	10,166	3,552	38,940	516	39,456	—	39,456
セグメント間の内部 売上高又は振替高	568	—	—	—	568	519	1,088	△1,088	—
計	16,975	8,815	10,166	3,552	39,509	1,035	40,545	△1,088	39,456
セグメント利益又は 損失(△)	△915	721	696	3	505	△35	470	△586	△115

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、農業、環境事業等を含んでおりません。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	505
「その他」の区分の利益	△35
のれんの償却額	△156
全社費用(注)	△434
その他の調整額	5
四半期連結財務諸表の営業損失(△)	△115

(注) 全社費用は、主にグループ全体の管理業務に係る費用であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、「その他」に含めておりました「海外外食事業」について、量的重要性が増してきたことを踏まえ、報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第1四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「国内外食事業」セグメントにおいて、撤退予定等の店舗資産に係る減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては7百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

記載すべき事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

記載すべき事項はありません。